



参加無料

定員100名

1/31
2026 土
13:30~16:00

1day
symposium

第2回 海陽町魅力発信 シンポジウム in とくしま

～海陽町の魅力と地方創生について考える～

場所 徳島大学常三島キャンパス けやきホール
徳島県徳島市南常三島町1丁目1

開場 13:00~

シンポジウムテーマ

本シンポジウムでは、学生が企画・実施した海陽町のモデルツアーや観光・産業・環境・防災といった多様な視点から、地域の魅力と将来像について議論します。

太平洋沿岸という豊かな自然環境と、地域に根付く暮らしや知恵をどのように次世代へつなぎ、2040年に向けて持続可能な地域づくりを進めていくのか。

産学官民が一堂に会し、海陽町の可能性を考える場です。

お申込み

右記 QR コード、

申込締切 2026年1月30日(金) 17時まで

または下記 URL の Web フォームからお申込みください

<https://forms.office.com/r/BB9MyE3tqy?origin=lprLink>

コーディネーター
段野 聰子



主催

徳島大学 人と地域共創センター

TEL:088-656-7651 E-mail : cr-office@tokushima-u.ac.jp

2026/1/31
KAIYO
ATTRACTIVE
SYMPOSIUM



PROGRAM

プログラム

進行 徳島大学 総合科学部 公共政策コース 4年生 竹下紘葉

13:30 - 13:35

オープニング

13:35 - 13:40

開会の挨拶 徳島大学 理事・副学長（地域担当） 藤本真路

13:40 - 14:30

学生による研究発表

①グループ

「海陽町で見つけた冬の幸」実施報告

②グループ

「海陽町文化ツアーにおける実施報告とアンケート調査からの提案」

③グループ

「海陽町体験ツアーにおける実施報告とアンケート調査からの提案」



14:40 - 15:50

公開討論会

14:40 - 15:15

議題① 次世代と描く、太平洋側沿岸部の2040年ビジョン

15:15 - 15:50

議題② 恩恵と脅威をつなぐ視点
観光と防災を両立させる「レジリエントな海のまちづくり」

登壇者

四国海と生き物研究室

代表

岩瀬 文人 氏

海陽町 観光交流課

課長

戎谷 悟 氏

徳島経済研究所

上席研究員

蔭西 義輝 氏

徳島県 観光企画課

課長

原 裕二 氏

ニタコンサルタント株式会社 代表取締役

安藝 浩資 氏

徳島大学 総合科学部 公共政策コース 3年生

李保 侑誠

ファシリテーター 徳島大学 総合科学部 段野 聰子

15:50 - 15:55

講評

15:55 - 16:00

閉会の挨拶 徳島県 観光スポーツ文化部 部長 勝川 雅史 氏